

海水浴場に子どもたちの声響く



7月10日、高須海水浴場で「高須海水浴場及び浜田海水浴場開設式」が実施されました。当日は、海水浴場の安全祈願祭を実施したほか、高須保育園の園児による初泳ぎが行われました。園児たちは歓声をあげて水を掛け合うなど、子どもたちの元気な声が海岸に響きました。

味覚糖と立地協定を締結



7月21日、グミなどお菓子の製造・販売を行う味覚糖株式会社（みかくとう）が吾平町に工場を設置することから、本市と立地協定を締結しました。工場では「おさつどきっ」の原料となるサツマイモのスライスや冷凍加工が行われる予定で、令和9年9月の操業と23人の新規雇用が見込まれています。

和牛日本一、連覇を目指す



7月2日、さつき宛で「北海道全共日本一プロジェクト決起大会」が開催されました。これは令和9年に開催される第13回全国和牛能力共進会北海道大会に向けて、肝属地区推進委員をはじめとした関係者で機運醸成を図るために実施されたもので、和牛日本一に向けて決意を新たにしました。



かのやのホットな話題をお届け

未来ある子ども達の教育に役立てて



7月8日、有限会社郷原緑蔭園（ごうはらりよくほうえん）から本市に100万円が寄附されたため、市役所で贈呈式が行われました。同社の郷原聖哲代表取締役は「鹿屋市の子どもの教育に役立ててほしい」と話し、市長は感謝の言葉を述べたあと、感謝状を手渡しました。

災害対策運営の一助に



7月16日、鹿児島県LPガス協会大隅支部から本市に防災セットが寄贈されたことに伴い、市役所で寄贈式が行われました。同会の宮園春人（みやそのはると）支部長は、「災害発生時などに、防災の拠点となる災害対策本部などで、ぜひ活用いただきたい」と述べました。

思い出の場所にテントを寄贈



7月6日、かのやグラウンド・ゴルフ場で久保園東一（くぼのとういち）さんから本市にテント一式が寄贈されたため、感謝状贈呈式が行われました。久保園さんは「妻と夫婦で楽しくプレーした思い出の場所であり、今後もグラウンド・ゴルフ競技が盛り上がりしてほしい」とコメントされました。

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える



7月1日、市役所1階市民ホールで第76回「社会を明るくする運動」メッセージ伝達式及び出発式が行われました。また、寄附金贈呈式も行われ、更生保護活動に長年尽力された故久保園芳子（くぼのよしこ）さんのご遺族から鹿屋市更生保護女性会、BBS鹿屋地区会へ寄附金が贈呈されました。

ジェンダー平等を考える



7月25日、イオンかのやショッピングセンターで男女共同参画地域推進員が、男女共同参画週間に合わせ街頭啓発活動を実施し、ジェンダー平等への理解を呼び掛けました。

九州でも目指せ優勝！



7月22日、寿パッションズ軟式野球スポーツ少年団の選手らが市役所を訪れ、「モダンプロジェカップ第15回全九州学童軟式野球大会」への出場を報告し、意気込みを語りました。

古江で国際交流



7月19日、古江町で「世界のカレーでつながる古江」が行われました。インドネシア、フィジー、日本のカレーの食べ比べを通じて、文化の多様性に触れながら国際交流を図りました。

はじめてのカヌー体験



7月18日、吾平小学校プールで同校区子ども育成会によるカヌー体験教室が行われ、18人が参加しました。初めてのカヌー体験に悪戦苦闘しながらも大いに盛り上がりしました。

全国大会での活躍を誓う



7月9日、「第20回鹿児島県障害者スポーツ大会」において、上位入賞を果たした選手らが市役所を訪れました。10月に青森県で開催される全国大会に向けて、抱負を語りました。

全国で自己ベスト更新を



7月9日、県陸上競技大会において上位入賞を果たしたKmtk.Jrの選手らが市役所を訪れ、11月に国立競技場で開催される全国大会での自己ベスト更新を誓いました。